

デザインセンター利用法の紹介

第2回 モデル・試作用造形装置の活用

平成18年9月に西が丘本部に開設したデザインセンターでは、製品や部品に対する機能、性能、安全性、意匠デザインの向上と売れる製品企画・販売促進を支援します。このコーナーでは、センターに設置した機器とその利用法についてご紹介します。

部品の設計(デザイン)、機構の設計(デザイン)、そして、外観のデザイン、といった売れる商品として付加価値をつけるためには、緻密な図面、綺麗なスケッチよりも、手にとることのできるモデルや試作品を製作し、検討を行うことが効果的であると言えるでしょう。

デザインセンターでは、このような場面にお使いいただける下記の各種造形装置を整備しました。これらの設備は、お持込みいただいた3次元CADデータをもとに、スピーディなモデル・試作品作りを職員がお手伝いします。

各造形装置はそれぞれ、前回ご紹介した3次元CADや3次元モデラーにより作成したデータから直接、立体物として作成することができます。

- ① ラピッドプロトタイピング(RP)システムは、デザイン確認から機能・性能評価用樹脂モデルや製品をナイロンで直接造形できるレーザー焼結のシステムです。(図1)
- ② 3Dプリンターは、造形スピードが高速で、操作しやすい造形機です。造形物にもろさはありますが、初期形状の確認を素早く行いたい場合に最適です。(図2)
- ③ 切削モデリングマシンは、部品の表裏や刃物交換を手で行う必要がありますが、精度ある切削加工が可能です。(図3)

ご利用は、電話でデータ形式等を相談の上、予約してからご来所ください。



図1 RPシステム



図2 3Dプリンター



図3 切削モデリングマシン

機器の利用時間:平日(月~金)午前9時から午後8時まで(予約が必要です)

お問い合わせ先:研究開発部第一部 デザイングループ<西が丘本部>

TEL 03-3909-2151(代)